

はじめに

お茶の水女子大学は、このほどはじめて、学生たちのキャリア意識を主題とした調査研究を実施した。

学生たちに幅広い教養と深い専門性を身に付けさせることは、高等教育機関が負う普遍的使命の一つであって変わることはないが、いま、さまざまな今日状況の中で、そのあり方が問われはじめている。その中で最も大きな要請が、学生の就業力育成に資するための教育、あるいは学生たちの社会的、職業的自立を促すための教育であろう。その本質は、アカデミズムに依拠した伝統型の大学教育を否定するものではまったくないが、大学教育の編み換えや新たな仕組みの追加が必要になっていることは否定できない。大学教員の中にはこうした変化を受け付けない向きもないわけではないけれども、「時代の先駆け」たる大学がいまなにをしなければならぬのかを考えたとき、私たちがなすべきことは多々あるように思われる。

本学のキャリア教育支援体制は、いまようやくその整備がはじまったところであり、その第一歩として、学生の声を聞くこのキャリア意識調査を実施した。

学生たちの声は、彼女たちの直面する現実に正直であり、大学への批判はある部分痛烈ですらある。すべてを受け入れることはできないけれども、学生支援、キャリア支援の体制整備が不可欠であることを教えている。調査結果を受け止め、本学のキャリア支援体制、さらには教育体制の革新に向けて活かしていきたい。

回答してくれた学生諸君に感謝するとともに、関係各位に活用されることを期待している。

教育機構長（理事・副学長） 耳塚寛明

目次

はじめに

目次

調査の概要	1
第1章. 「キャリア意識調査」の結果報告	3
(1)キャリア行動について	3
(2)キャリア意識について	9
(3)本学のキャリア支援・教育の活用状況について	18
(4)本学のキャリア支援・教育に関する意見・希望について	24
第2章. 経済・生活支援の利用とキャリア支援の利用との関連	25
－ 利用状況と有益性、評価の観点からみて －	
(1)経済・生活支援の利用状況	25
(2)奨学金制度の利用とキャリア支援の利用の関連	27
(3)授業料免除制度の利用状況とキャリア支援の利用状況の関連	32
(4)学生寮の利用状況とキャリア支援の利用状況の関連	36
(5)おわりに	42
第3章. キャリア関連科目受講状況とキャリア形成・キャリア支援との関連	44
(1)キャリア関連科目とは	44
(2)キャリア関連科目の受講状況	46
(3)キャリア関連科目の役立ち度について	50
(4)キャリア関連科目の受講とキャリア支援の利用について	53
(5)キャリア関連科目の受講状況とキャリア形成について	55
(6)おわりに	60
第4章. 大学生活および経済・生活支援とキャリア行動、キャリア意識との関連	61
(1)大学生活、学業成績とキャリア支援の利用との関連	61
(2)経済・生活支援とキャリア意識との関連	70

執筆担当者

耳塚 寛明 (副学長・教育機構長、学生支援センター長) 担当：はじめに
望月 由起 (学生支援センター 准教授) 担当：第2章
桂 瑠以 (学生支援センター 講師) 担当：調査の概要、第1章、第4章
中越 綾 (キャリア支援センター リサーチ・フェロー) 担当：第3章